

季刊 Evaluation

■年4回発行
■B5判
■No.47まで本体1,500円+税)
■No.48より本体1,600円+税)

■定期購読のご案内/年間【4冊】購読料：6,800円（税込/送料当社負担）



●等価交換方式マンションの税務特例のあらまし……鶴野 和夫
●等価交換マンション事業の概要と今日的意義(下)……大木 祐悟
●賃貸マンションの経費率……田原 拓治
●現代建築における迷走と彷徨……曾我 一郎
★明治大学リバティアカデミー エグゼクティブビジネスプログラム
MBS不動産プロフェッショナルアカデミーシリーズ
……明治大学専門職大学院グローバル・ビジネス研究科(MBS)/
明治大学リバティアカデミー(MLA)

新刊紹介
『ヘルスケア施設の事業・財務・不動産評価—高齢者住宅・施設および病院の価値の本質—』

■大都市の木造密集地域のこれからを考える《第1回：概論》……山口 幹幸

■住宅金融専門会社の存在意義はあったのか
——住宅ローンの草分け「日本住宅金融株式会社」25年の軌跡
《第2回》大蔵大臣の直接監督下におかれた住宅金融専門会社……安井 礼二

■マンション法の現場から
第14回＝不正建設訴訟敗訴のてんまつ……丸山 英氣

★企業・業界分析レポート④
＝不動産評価の難しさ、香港での事故物件～香港人の最後の静かな気配り～……岡崎 一浩

《新・鑑定雑感》日本人の問題対処の問題——問われる日本人の品格……堀川 裕巳

<2017年7月15日発行 第64号>

◆Evaluationバックナンバー-注文・定期購読お申込書◆

FAX : 03-3341-6937 年 月 日

◆季刊『Evaluation』誌【 号】号を申し込みます。(バックナンバー 一覧は裏面にございます。)

(↑恐れ入りますがバックナンバーご注文の場合、3冊まで160円、以降、4冊以上は320円の送料を申し受けます。また、定期購読と併せてご注文頂く場合、送料はかかりません。)

◆『Evaluation』誌の定期購読【第 号より】申し込みます。
(年間購読料(開始号を含めて4冊/年)1年単位:6,800円(税込/送料当社負担)です。)

(フリガナ) (フリガナ)
ご芳名 @ 貴社(所)名 ※
(フリガナ)
部署名 ※

送付先ご住所(〒 -) ※

TEL ※ FAX ※ E-mail ※

■お支払いは郵便振替(振替手数料は弊社負担)です。銀行振込もご利用可能です。(銀行振込の場合、振込手数料はお客様ご負担となります。)

◆全国の書店、官報販売所や、アマゾンなどのネット書店でもお求め頂けます◆

ご記入頂いた個人情報、ご注文頂いた書籍の発送、お支払い確認等の連絡および当社の新刊・開催セミナーのご案内をお送りするために利用しその目的以外での利用は致しません。

■新刊情報・セミナー案内は (送付してもよい/送付しなくてもよい) ←どちらかに○を付して下さい。

季刊

Evaluation

■年4回発行
■B5判
■No.47まで1,500円(本体+税)
■No.48より1,600円(本体+税)

No.63

- 固定資産税に関する近時の最高裁判例…沼井英明
- リートバブルの終焉は近いのか…田原拓治
- 評価命令の法的性質に関する私論——評価人たる不動産鑑定士に求められる高度の善管注意義務…堀川 裕巳
- 住宅金融専門会社の存在意義はあったのか——住宅ローンの草分け「日本住宅金融株式会社」25年の軌跡<第1回>民間初の住宅金融専門会社の誕生…安井礼二
- 等価交換マンション事業の概要と今日的意義(上)…大木祐祐
- シロアリと不動産との関係(下)——今後、良質な中古住宅が流通するにはシロアリ被害のチェックが欠かせない…内藤武美
- 不動産の投資格付けについて(下)——簡易な不動産投資インデックスの作成に向けて…西宮富夫
- ★企業・業界分析レポート③
- =「ヨコの展開」の経営の視点～干ばつに立ち向かうオーストラリア農業経営の視点から～…岡崎一浩
- <新・鑑定雑感>
- コモディ化する鑑定業務と特化型AIに駆逐される公的評価…堀川 裕巳

No.62

- 純収益と収益価格に関する一考察…江間 博
- *江間先生への感謝…北村雅夫
- 賃貸不動産の流通に関する法的課題 ——改正民法による対応と残された課題…田村哲雄
- 民泊の現状と法律問題について…遠藤 温子
- 不動産の投資格付けについて(上) ——簡易な不動産投資インデックスの作成に向けて…西宮富夫
- 被災マンションの復興にかかる法制度とその課題…大木祐祐
- 空家対策に税金の「ムチ」と「アメ」 ——固定資産税で軽減の適用外/譲渡所得で3,000万円控除/買った人に補助金…鶴野和夫
- シロアリと不動産…内藤武美
- ◆明治大学リパティアカデミー エグゼクティブビジネスプログラム MBS不動産プロフェッショナルアカデミーシリーズ …明治大学専門職大学院グローバル・ビジネス研究科(MBS)/明治大学リパティアカデミー(MLA)
- ★企業・業界分析レポート②=先行きの見通しが立たない時代に堅調な中国「海外発展」…岡崎一浩
- マンション法の現場から=第13回 ——いずれが真の規約か?…丸山英氣
- 杉本正幸論(6)——補論:動銀との抗争に敗れる…高瀬博司
- <新・鑑定雑感>
- 疑似科学と反知性主義——鑑定評価の不都合な現実…堀川裕巳

No.60/61

- 《特集》不動産をめぐる諸課題と展望
- 日本のコンクリートは、どこが悪い!!——100年コンクリートは、どうすればできるのか…秋山英樹
 - 不動産鑑定士はこれまで何をしてきたか——エンドユーザーを意識し社会に貢献してきたか…今枝意知朗
 - 住居専用マンションにおける税理士事務所の稼働…上原由起夫
 - 法人施設併用型分譲マンションの企画における定期借地権の有用性…大木祐祐
 - 賃貸住宅におけるサブリース——契約終了を中心に…太田 秀也
 - 貸宅地に係る裁判事案と鑑定評価——収益還元法に活躍の場はないのか…黒沢 泰
 - J-REIT市場の現状と将来展望について…近藤一仁
 - 太陽と水と空は都市のコモンズ——都市のコモンズをめぐる妄想…阪井暖子
 - 最低敷地面積制度を考える…曾我一郎
 - 平成26年改正『不動産鑑定評価基準』の重要点…田原拓治
 - 東日本大震災により液状化した地域および周辺の地価動向…内藤武美
 - 国家賠償法1条1項に基づく固定資産税の過納金相当額の損害賠償請求に係る諸問題…沼井英明
 - 土地価格について、固定資産評価基準と不動産鑑定評価基準との関連を探る…坂野辰
 - 一評価人から見た機械設備評価の現状…松浦英泰
 - 機械設備等の所有権取得期待権と譲渡担保…松田佳久
 - 信託のはなし——信託をきちんと理解している専門家がほとんどいない…宮崎裕二
 - 最近の土壤汚染対策の動向と今後の対応策の提案…八巻淳
 - 住宅の政策課題と民間の不動産投資——今後、大都市における住宅政策はいかなる方向に転換すべきか…山口幹幸
 - これからの土壤汚染対応と専門家の役割…油井泰作
 - 借地借家法改正への提言——建物譲渡特約付借地権・事業用借地権・終身借家権について…吉田修平
 - 「止まっている案件」を一歩進める選択肢の提示と事業性評価——土壤汚染地の有効利用の促進のために…吉野川健一
 - 都市法研究会300回を迎えて…丸山英氣
 - 都市法研究会300回を振り返って——それは不動産の歴史でもある…鶴野和夫
 - ★都市法研究会小史【第1回(1983年(昭和58年)～第300回(2016年(平成28年))
 - 企業・業界分析レポート①ホテル業——業績および株価好調、しかし債務超過のマリオット…岡崎一浩
 - マンション法の現場から(第12回)管理者解任の逆転判決下)…丸山英氣
 - 中国における不動産登記制度の統一化について(下)…江利紅
 - ★Evaluation総目次(no.1～no.61)

バックナンバー特集名一覧(各号の目次は弊社HPからご覧頂けます)

- No.59 ■『2020年問題』への対応——市街地の中の農地のゆくえ
- No.58 ■<土地再生シンポジウム>不動産取引と土壤汚染
- No.57 ■商業用不動産の戦略的経営 一変動・固定賃料の最適比率
- No.56 ■税務申告における不動産鑑定評価書の有効な利用方法
- No.55 ■最近の相続税評価通達広大地裁決の問題点
- No.54 ■これからのまちづくりと不動産を考える
- No.53 ■不動産鑑定評価基準改正概要
- No.52 ■都市内の空き家問題を考える
- No.51 ■最高裁判決第二小法廷平成25年7月12日判決について
- No.50 ■都市内の空閑地問題を考える
- No.49 ■不動産鑑定士以外の者による価格査定的位置づけについて
- No.48 ■東京都のアジアヘッドクォーター特区への期待
- No.47 ■平成24年度の不動産税制の改正のポイント
- No.46 ■心理的瑕疵による減価率の査定について
- No.44 ■オリンパス株価鑑定書をめぐる諸問題
- No.43 ■更新料特約を有効とした最高裁判決をめぐって
- No.42 ■東日本大震災と不動産
- No.41 ■実務修習・指導要領テキストの検証—貸家及びその敷地の鑑定評価
- No.40 ■地代・家賃評価をめぐる諸課題
- No.39 ■公的評価の課題とその将来像
- No.38 ■賃貸等不動産の時価評価をめぐって
- No.36 ■建物<評価>の諸課題を考える[上]
- No.35 ■農地法等の改正と農地評価をめぐる課題
- No.34 ■いま問われている不動産鑑定[士]の専門性—「価格調査等ガイドライン」の施行にあたって
- No.33 ■不動産競売制度をめぐる今日的課題
- No.32 ■【特別企画】匿名座談会—金融危機の現状と今後の不動産証券化の方向を探る
- No.31 ■不動産鑑定はどこまで来たか、そして明日はあるか? [下]
- No.30 ■不動産鑑定はどこまで来たか、そして明日はあるか? [上]
- No.7,9,10,11,12,23,24 ■ 在庫有り

◆『1,2,3,4,5,6,8,13,14,15,16,17,18,19,20,21,22,25,26,27,28,29,35,37,40,45』は品切れです。また、『7,9,11,24,36』は在庫僅少です。

◆全国の書店、官報販売所や、アマゾンなどのネット書店でもお求め頂けます。◆